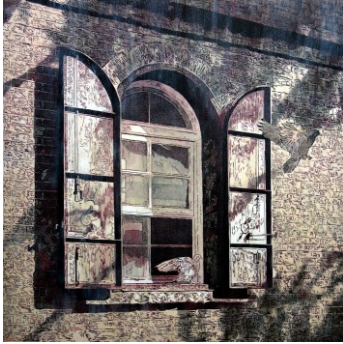


I sou「創」シリーズ
(12 作品)

◆sou 〈窓〉



羽ばたきの
音響かせる
陰影と
扉の向こう
気配はそこに

◆sou 〈蒼〉



蒼き空
記憶の中に
咲く花は
まぶたの奥に
色彩残す

◆sou 〈湊〉



さざめきと
寄せては返す
光る波
思い思いの
小舟浮かべる

◆sou 〈繰〉



時の糸
手繰り寄せては
遠い日を
静かに巡り
紡がれるもの

◆sou 〈装〉



庭に咲く
振り向く花を
纏うとき
光と影が
姿を作る

◆sou 〈送〉



風のなか
見えぬ手ざわり
渡るもの
送り届ける
今日に咲く花

◆sou 〈奏〉



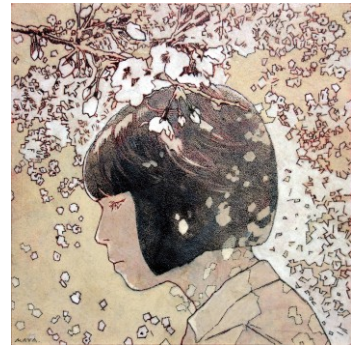
音の線
あの日と今日が
つなぐ道
鳴り響くのは
新たな息吹

◆sou 〈走〉



潮風の
始まりの場所
追いかける
影が踊れば
波はきらめく

◆sou 〈颯〉



風の音
影を振り切る
気配だけ
形にならぬ
清らかな風

◆sou 〈叢〉



影の叢
重なる茂み
息づいて
名もなき光
芽吹くところに

◆sou 〈層〉



新しい
創造の層
重なる地
合間に見える
地平の光

◆sou 〈想〉



深々と
影の奥底
息をする
いまだ言葉に
ならぬものさえ

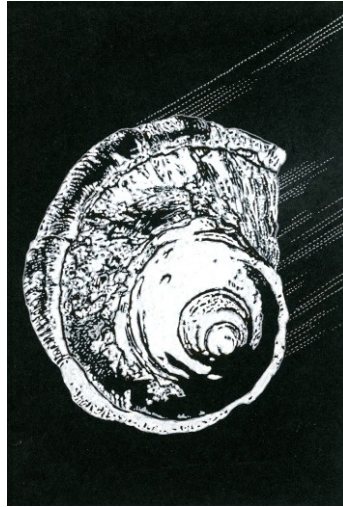
II 光跡シリーズ (16 作品)

◆光跡 - 眠り



暗闇で
作り変えられ
明日を待つ
眠りの底で
光抱える

◆光跡 - 回生



沈黙が
時計回りで
動き出し
祈りの中で
息吹き返す

◆光跡 - 海のかげら



こぼれゆく
浜辺の音を
聴いたなら
影の記憶を
音楽にする

◆光跡 - 意志と意思



影の中
見つけた星の
息遣い
光が示す
方向を見る

◆光跡 - 使者



闇の中
一羽の鳥が
渡りゆく
いつかの夢が
今届けられ

◆光跡 - 輝き



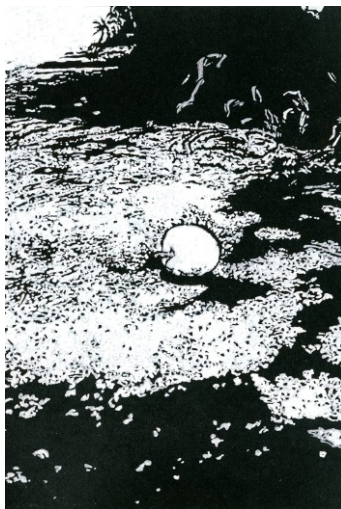
静けさに
触れゆく記憶
灯りだす
内なるものが
滲んで見える

◆光跡 - 贈る花



影の中
育った光を
手にのせて
今日待つ人に
静かに渡す

◆光跡 - 時の印



過ぎ去りし
日々の光が
実る頃
ひとつ希望の
姿が変わる

◆光跡 - 返照



昇る日が
影に触れれば
今日になり
過去と未来が
ひとつに滲む

◆光跡 - 来訪



遠方の
影越えながら
来る気配
名もなき道が
扉を叩く

◆光跡 - 追想



日だまりと
影のあいだで
ひと呼吸
忘れたものが
ゆっくり浮かぶ

◆光跡 - 浜辺



波のあと
痕跡光り
残りゆく
消えそうなまま
足元照らす

◆光跡 - 月明かり



月光と
街の明かりが
語り出す
闇の深さを
受け止めながら

◆光跡 - 晴れ間



雲 流れ
ひとすじの光
差している
羽ばたくものを
君が見るまで

◆光跡 - 雪の道



白い道
細い軌跡が
残るとき
夜闇に光る
静かな旅路

◆光跡 - 夜明け



夜の果て
光の前で
立ち止まる
すべてが今を
受け入れていた

III 海の深度 (8 作品)

◆海想瓶



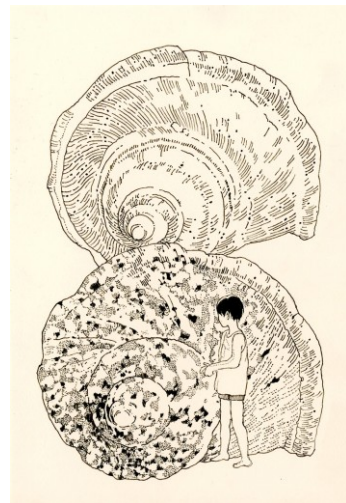
波の底
こぼれた記憶を
拾いあげ
ひとかけらだけ
胸に沈める

◆穏やかな海



今はただ
静けさだけが
満ちてゆく
羽ばたくものも
羽を休めて

◆夜光貝



名を持たず
灯りゆくもの
息をする
真珠のように
光を包む

◆海を呼ぶ



約束は
水平線の
向こうまで
響いた声は
波にほどける

◆海の四重奏



浜辺にて
影と光が
奏であう
時の層から
立ちのぼるもの

◆wish



波間から
生まれた願い
羽ばたいて
海の底から
光を呼んだ

◆遠くから



寄せ返す
言葉がつなく
遠い地の
雲の晴れ間で
思い出すこと

◆誓いの浜辺



波のあと
消えた言葉の
残り香が
潮風連れて
光に変わる

IV 祈りの章 (5 作品)

◆ 祈りの鳥



確かだと
信じる言葉
空に舞い
声にならない
願いを運ぶ

◆ 花になる



影の中
ひとつの光
芽吹きだし
形なきもの
花に変えゆく

◆ タンポポ



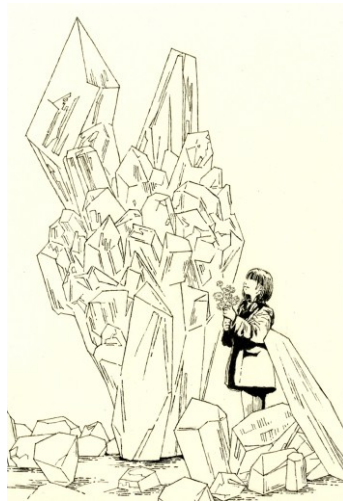
そよ風の
揺らぐ光が
花となり
水色の空
見つめて咲いた

◆ 救われし未来



遠い日に
かすかな光
触れたとき
沈む時間は
すくい上げられ

◆ 花を捧ぐ



胸の奥
そっと灯った
白い花
誰かを思い
光り続ける

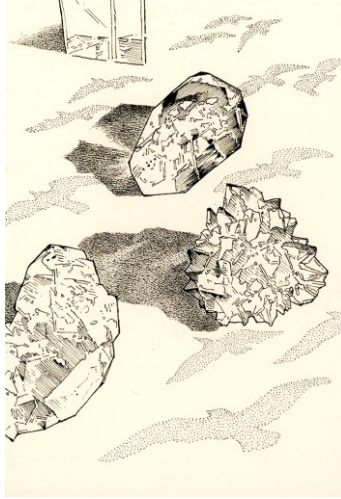
V 記憶の章 (13 作品)

◆希望のかけら



欠けた日々
映し出される
かけらには
光る浜辺が
広がっている

◆影送り



昨日見た
翼の影は
空の上
残されていた
思いを運ぶ

◆序奏



旋律が
記憶の扉
押し開けて
波に漂う
音 光らせる

◆散光



浮遊する
光のかけら
はじけると
いつかの日々の
夢を照らした

◆時の作りしもの



沈黙の
積み重なりし
時の層
過ぎた日々さえ
光に変える

◆message



言えぬまま
胸に残った
光る声
波を乗り越え
そっと届いた

◆思想雲



思いだけ
空の底から
立ちのぼり
長く落とした
影を染めゆく

◆砂の城作り



壊れると
知りつつ積んだ
影の塔
あの日の記憶
まだ息をする

◆シルエット



夕暮れに
今日の輪郭
浮かび出し
そこに確かな
想いを映す

◆回想転送



過ぎし日々
影の重さが
ほどけだし
光る翼に
静かに変わる

◆標石



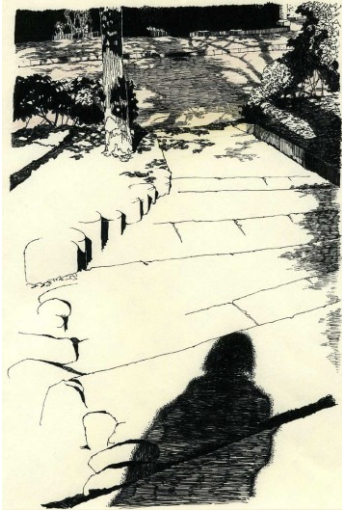
進むべき
道示されて
灯るもの
歩みの中で
輝いている

◆窓辺



移りゆく
日々の光が
広がって
忘れ得ぬ時
窓に映した

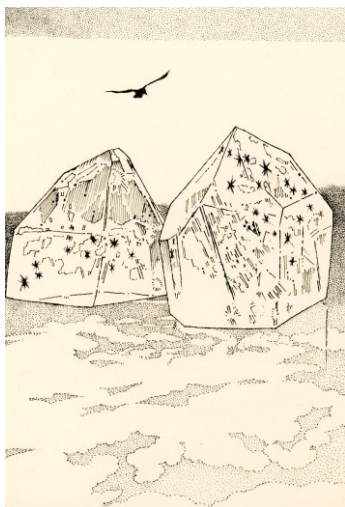
◆この道にあるもの



歩むたび
影の形は
変われども
光る軌跡は
途切れず続く

VI 結晶の章 (10 作品)

◆星入り水晶



いくつもの
日々のかげら
含む星
忘れた願いを
集めて光る

◆結晶都市



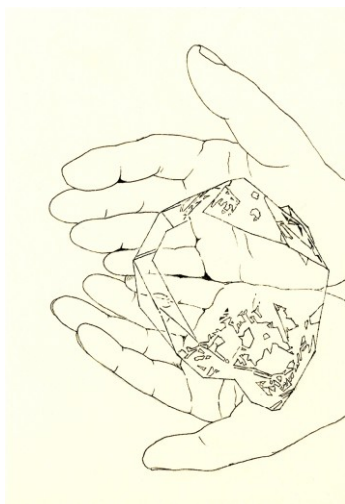
透き通る
夢が築かれ
立ちあがる
見えないものが
見えてくるとき

◆基点



始まりを
拾おうとして
手を伸ばす
遠い日々への
歩みのために

◆詩的結晶



てのひらに
すくう光が
時を超え
言葉とともに
形を残す

◆支点



揺らぎつつ
光がひとつ
立ち止まり
日々の重さを
受け取っている

◆心層溪谷



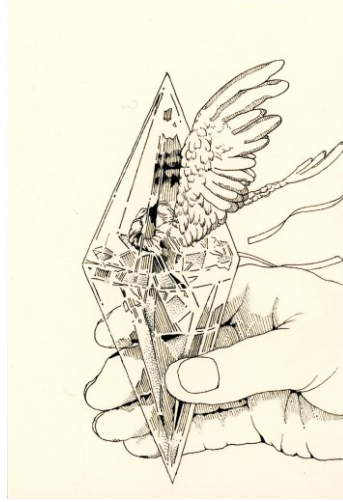
落ちてゆく
最果ての地で
夢を見る
光はそこで
形を持った

◆荒野の新星



荒野にも
流れる光
届くとき
名もなきものを
照らし示した

◆解放鉱石



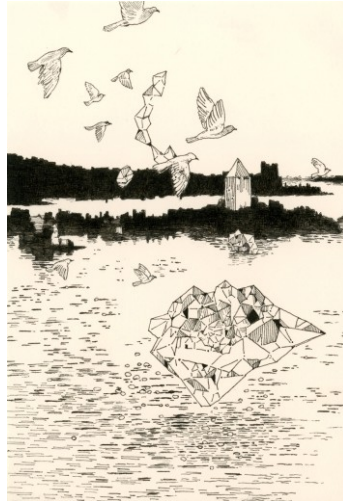
取り出した
輝きの鍵
影を越え
雲なき空で
小さく鳴った

◆ひとすくい輝き



手を伸ばし
触れた光を
すくい上げ
影の奥底
形選んだ

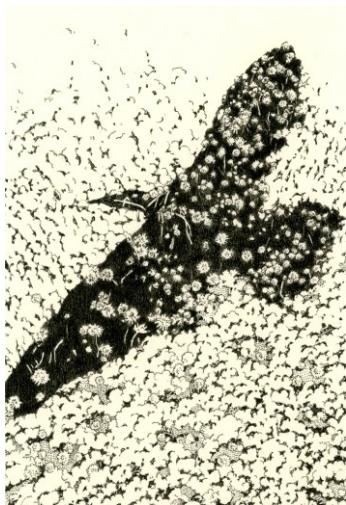
◆求むるものたち



約束の
翼を持った
光たち
永遠の地を
祈り求める

VII 飛行・未来・軌跡 (11 作品)

◆鮮やかなる飛行



咲き誇る
花の都に
舞い上がる
影を切り裂き
線を描いて

◆連奏



重なりし
光の調べ
響きだす
波音光り
泡と消えゆく

◆助走



踏みだせば
影の重さが
波に乗り
光る願いの
行き先を見る

◆光の使者



今に見る
影越えながら
来る気配
羽ばたくものが
道をひらいた

◆彼方の流星群



遠い空
こぼれた光
走りゆき
夢見る人に
希望届けた

◆古き塔へ



詠み継がれ
さらなる時を
経てゆけば
物言わぬもの
静かに語る

◆星拾い



地に潜む
夜が落とした
星々に
息づくものは
明日への光

◆空に輝くもの



星を見た
内なる空の
真ん中で
多く語らず
瞬いている

◆物語の始まり



明るみに
出会うところで
灯りだし
未来の扉を
静かに押した

◆明日が呼ぶ



一日の
終わりに響く
空の色
影の向こうに
誘い出される

◆交差する空の線



見上げれば
空の深さに
重なりし
伸びゆく線の
行き先見つめ

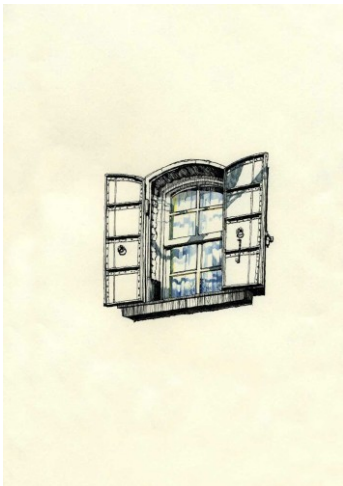
Ⅷ 日々の光 (2 作品)

◆路上の音楽



街角で
奏でる音が
風に乗る
通りすがりに
光を落とす

◆序章



始まりの
前の静けさ
満ちてゆく
日々の光は
語られてゆく